

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ごみ中間処理事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	04	02	02	01 04	
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	不燃系廃棄物等	意図	ごみの資源化を推進するため、適正な中間処理（分別）を実施し、資源化率の向上に努める。
事業内容	日々搬入された不燃系ごみを分別し、資源化できる物とできない物に適正に分別し、法を遵守した適正な廃棄物の処理を行うことにより、ごみの資源化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	リサイクル館に搬入された不燃系等廃棄物の適正な処理を行い、再資源化を図る。平成24年度からの資源ごみの集団回収への一本化に伴い搬出量及び資源化率は減少したが、不燃系資源搬出量の減少により再資源化率が減少したため、効率的な再資源化の方策を検討する。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 不燃系廃棄物搬入量	7,252	7,162	7,409	トン	→→	ごみ処理フロー（プラ、燃やさない、不燃粗大等）から集計
	② 不燃系資源搬出量	1,715	1,540	1,975	トン	↓↓↓	ごみ処理フロー（炉下鉄・アルミ、ペットボトル、プラスチック等）から集計
	③ 不燃系残渣量	5,530	5,622	5,434	トン	↑↑↑	①不燃系廃棄物搬入量-②不燃系資源搬出量
	④ 資源化率	23.70	21.50	26.70	%	↓↓↓	②不燃系資源搬出量÷①不燃系廃棄物搬入量×100
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		15,991,695	10,370,320	10,977,360			
事業費(b)(円)		9,004,695	3,460,320	3,447,360			
うち一般財源		9,004,695	3,460,320	3,447,360			
職員給与費(c)(円)		6,987,000	6,910,000	7,530,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	包括管理委託したリサイクル館については、再資源化率の向上を図る。	③取組の課題	市民のごみ分別に関する意識の更なる向上及び資源化率の向上。
②今年度(H27)に実施した取組	リサイクル館を包括管理委託に伴い毎月モニタリングを実施した。	④今後の改善計画	リサイクル館については、包括管理業務委託したため、民間活力による処理の効率化及び資源化率の向上を図る。